



TITLE:

図書室めぐり 教育学部図書室

AUTHOR(S):

CITATION:

図書室めぐり 教育学部図書室. 静脩 1980, 17(2): 6-7

ISSUE DATE:

1980-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36877>

RIGHT:

教 育 学 部 図 書 室

1

昭和55年3月、教育学部校舎第3期工事完成に伴い、図書室はその新築部分に移転し、5月より開館した。これまでは教育学部の校舎は余りにも狭く、図書室がその中に入る余地はなかった。そのため、教育学部創設以来、学部に近い、より便利な場所を求めて移転してきたが、それも漸く一段落といったところである。しかしながら、今回の増築でも十分な広さが確保できず、全蔵書約7万2,000冊のうち約3万6,000冊を新館に収容し、残りは赤レンガ書庫等に蔵置している。

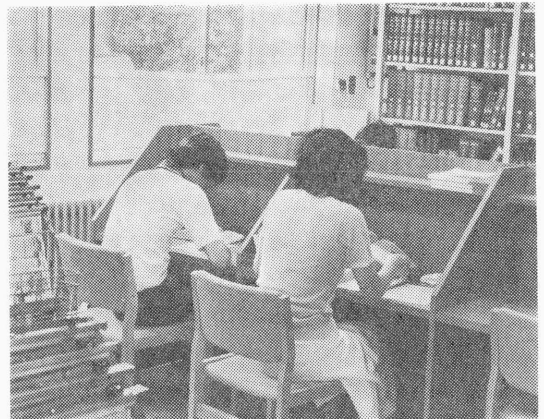
2

教育学部は、教育諸学の基本的研究とその教育を任務とし、教育学科、教育心理学科、教育社会学科の3学科制をとっている。教育学部図書室の蔵書構成は、この学部の特質に適合するように資料収集され、教育学、教育史、教育心理学、教育社会学、教育行政学及び教育諸科学、あるいは、図書館学や教育諸統計など、関連分野を広くカバーしている。

また、7万冊を超える蔵書の中には、文学部から教育学部に移管された旧制「教育学・教授法講座」時代の図書や、「小西文庫」（昭和8年に京大総長となった小西重直博士の旧蔵書）、「高橋文庫」（日本教育思想史を中心とした高橋俊乗博士の旧蔵書）など、今日では入手不可能な貴重な資料が数多く含まれている。そのほか、雑誌は和洋合せて1,000種類以上も所蔵しており、これらの資料群の有効な利用を図りつつ、それらを永久に守り伝えていくよう、努力が払われている。

3

教育学部図書室では、創設当初から、利用者が直接書架にアプローチして、資料を手にとって自分で選択できるように、全面開架制を原則としてきた。しかし、蔵書数の増大に対して十分なスペースが確保できず、「文学部移管図書」、「小西文庫」、「高橋文庫」などのほか、1960年代以前



の雑誌等は別置せざるを得なくなった。

これら別置されたものを除いて、資料は直接手にとって見ることもできるが、そのようなブラウジング的な探索ばかりでなく、目録や書誌・索引類によって組織的に、的確に探索することも大切である。

4

本学部の所蔵調査のためには、カード式の「書名目録」、「著者名目録」、「分類目録」があり、そのほか「障害者教育関係資料」や「都道府県教育関係諸統計類」などの主題別の目録についても整備を急いでいる。

雑誌論文の検索用のツールとして、次のような索引類を備えている。

- (1) 国立国会図書館編：雑誌記事索引
- (2) 東京都立教育研究所編：体系別・件名別教育研究報告一覧
- (3) ERIC: Current Index to Journals in Education. ("CIJE"と略)
- (4) Education Index. (H.W. Wilson Co.)
- (5) Psychological Abstracts. (American Psychological Association)
- (6) Sociological Abstracts. (Sociological Abstracts Inc.)
- (7) Sociology of Education Abstracts. (Infor-

また、コンピューターによる情報検索という展望がある。本学部でもERICの検索実験を重ね

てきており、全学的なシステムの構成に伴って、各種のデータ・ベースがコンピューターによって検索できるようになるのもそう遠い将来ではなかろう。

第27回 国立大学図書館協議会総会

第27回の国立大学図書館協議会総会は6月19・20日の両日にわたり、東北大学を会場として開催された。本年1月の学術審議会の答申「今後における学術情報システムの在り方について」に対応し、研究集会テーマのほか、各分科会の協議題にも将来の学術情報システムにおける大学図書館の在り方に関連する問題が数多く取り上げられた。

主要行事日程

第1日

- 1, 各地区協議会報告。
- 2, 「図書館相互協力」調査研究班報告。
主査館 横浜国立大学
- 3, 国立大学図書館協議会賞受賞者表彰式
受賞者 鳥取大学附属図書館医学部分館
中川 克哉氏

件名 「医学図書館のための参考図書資料」

4, 研究集会

テーマ 「全国的規模で展開する学術情報システムに、各大学内の図書館体制を如何に整合し、協力させ得るか。」

5, 昭和55年度役員選挙

会長館に東京大学、副会長館に京都大学、東北大学がそれぞれ選出された。

第2日

1, 分科会

第1分科会 (運営・サービス)

第2分科会 (予算)

第3分科会 (人事)

2, 全体会議 (分科会のとりまとめ等)

第49回 近畿地区国公立図書館協議会総会

第49回の近畿地区国公立大学図書館協議会総会は、6月4日に当番館の滋賀医科大学を会場として開催された。当総会で兵庫教育大学が新しく加盟した。オブザーバー出席は、私立大学図書館協会京阪神理事の仏教大学、近畿大学であった。

総会の概要は、次のとおり。

1, 昭和54年度事業報告

- 1) 第48回総会 5月30日 当番館 京都府立医科大学 於 御車会館
- 2) 主題別研究集会 8月30日 於 大阪女子大学 講師 同館事務長 大庭健吉氏
演題「英和辞典発達史一書誌学的、出版文化的考察」 参加者 21名
- 3) 図書館施設に関する研究集会
(1) 6月1日 於 滋賀医科大学 参加者78名

(2) 2月27日 於 大阪外国語大学 参加者91名

4) 講演会 5月26日 於 京都大学

講師 リサーチライブラリ・グループ システム部長 John R.Schroeder

演題「米国における図書館情報ネットワークの現状について」 参加者160名

5) 館長・事務(部・課)長会議(第4回)

9月7日 当番館 奈良県立医科大学
於 猿沢荘 参加者47名

6) 委員会活動

(1) 図書館(学)関係文献に関する調査委員会
(主査 神戸市外国語大学) 目録予備版作成、委員会作業完了。

(2) 図書館業務機械化に関する委員会(主査 大阪大学) 近畿地区現行受入欧文雑誌リ